

# Osaka Metro Group

## 2021年度事業活動の概要



2022年5月26日

# 2021年度の主な取組み（交通／鉄道事業）

安全・安心及びお客さまサービス向上の取組みを着実に実施。  
増収施策の一環として、各種キャンペーンやイベントなども展開。

## 安全・安心の取組み

### <可動式ホーム柵の設置>

お客さまのホームからの転落や列車との接触を防ぐため、2021年度に御堂筋線全駅への設置が完了。2025年度末までに全線で整備予定。



淀屋橋駅（御堂筋線）

### <エレベーターの増設>

バリアフリー経路の複線化として3駅で増設。

- ・天神橋筋六丁目駅
- ・住之江公園駅
- ・桜川駅



天神橋筋六丁目駅

### <耐震補強工事等>

柱（地下部）及び特殊橋梁の耐震補強を2021年度に完了。  
引続き、柱（高架部）の耐震補強及び脱線対策ガード付きまくらぎの導入を推進中。



地下中柱補強



特殊橋梁補強

### <防犯カメラ>

車内と駅構内に防犯カメラを設置。

### <ドローンを用いた設備点検>

自社パイロットによるマイクロドローンを用いた施設点検を実施。

## 増収への取組み

### <キャンペーン・イベント>

大阪の魅力を徹底的に掘り起こし、当社線でいつどの駅に出かけても楽しんでもいただけるような多様な仕掛けづくりやキャンペーン・イベント等を実施。

## お客さまサービスの向上

### <車両更新>

御堂筋線新造車3列車更新  
（ブラズマクラスター、防犯カメラ搭載）



### <グランドリニューアル>

心斎橋駅、動物園前駅の2駅実施中。



心斎橋駅



動物園前駅

（ジ・オオサカ・ブランド）（まるで自然の中にいるかのような空間）

### <顔認証を用いた次世代改札機の実証実験>

2021年度は実証実験場所を4駅から9駅に拡大。実運用を踏まえた、技術的な課題検討の深度化、課題解決に向けた認証性能改善・向上の取組みを実施。

○ 拡大設置駅：天神橋筋六丁目駅、淀屋橋駅、長居駅、なんば駅、九条駅

### <サービス介助士>

駅社員のサービス介助士資格取得率100%を目指し推進。駅社員の接客能力向上を目的に、接客マイスターの認定制度を継続実施。

### <AIサイネージ>

AI案内サイネージを活用したお客さま案内（駅構内案内・周辺案内・乗換案内）の実証実験をなんば駅・鶴橋駅で実施。周辺案内ではスマホとの連携機能を搭載。

### <白杖・車いす検知システム>

AI自動検知技術を用いた白杖・車いす検知システムの導入に向けた取組みを実施。



# 2021年度の主な取組み（交通／バス事業）

安全・安心及びお客さまサービス向上の取組みを着実に実施するとともに、各種イベントやキャンペーンなどの増収施策を展開。  
環境に配慮したバスの運行やワクチン接種バスの運行など社会貢献の取組みを推進。

## 安全・安心の取組み

### <各種訓練の実施>

地震・津波発生時、お客さまを的確・迅速・安全に避難誘導できるよう、また、河川氾濫などによるバス車両の避難やバスジャック等重大事態対応の各種訓練を実施。



<バスジャック等重大事態対応訓練>

### <更なる接客サービスの向上を目指して>

バス運転士のサービス助手資格取得率100%を目指し推進。  
接客・運転スキル向上を目指し、他社の運転士を交えた「接客・運転競技会」を開催。



<接客・運転競技会>

## お客さまサービスの向上

停留所でQRコードを読み取ることにより、バス接近情報が確認できる「i・ma・doコード」を全停留所※に掲示。（※起点(始発)停留所は除く）



停留所での「i・ma・doコード」の掲示  
(地下鉄住之江公園バスターミナルの例)

大阪市内のバス停で初めて、あべの橋停留所（1番2番のりば）に猛暑対策として微細ミスト等による涼感施策の実施。  
(おおさか気候変動対策賞/大阪府知事賞受賞)

## 増収への取組み

ポイントラリーやポイントアップキャンペーンの実施、スルッとKANSAIバス印ラリーイベントへの参画、募集型企画旅行としての日帰り貸切バスツアーの催行などを実施。



<日帰り貸切バスツアー企画>



<スルッとKANSAIバス印ラリーイベント>

## 環境対策・社会貢献

大阪府内の路線バスとして初めて、環境にやさしい燃料電池バス（水素バス）の運行を開始。

ノンステップバスによる新型コロナウイルスワクチン大規模接種会場への直行送迎バスの運行を実施。



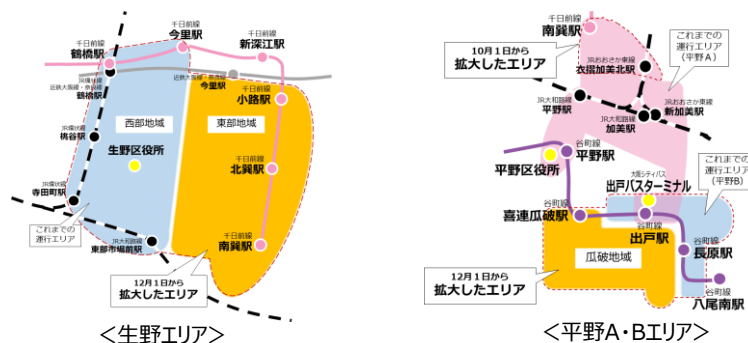


# 2021年度の主な取組み（交通／MaaS事業）

交通の進化を目指し、都市型MaaS機能を強化し、交通の更なる利便性向上策を推進。

## オンデマンドバス拡大

2021年3月30日から生野区・平野区で運行しているオンデマンドバス。  
10月1日より、平野区加美北エリア、  
12月1日より、生野区東部エリア・平野区瓜破エリアへ運行エリアを拡大。  
2022年4月1日からは北区・福島区で運行開始。  
それぞれのエリアで駅との乗り継ぎ箇所が増え、オンデマンドバスと地下鉄の乗り継ぎがさらに便利に。



## 法人向けオンデマンドバス実証実験開始

2022年2月1日より法人向けオンデマンドバス実証実験を開始。  
オンデマンドバスの専用アプリを利用して、社用車を運行し、  
利用者が指定した営業先などに、予約に合わせて配車するサービス。



＜法人向けオンデマンドバス＞

## オンデマンドバス利便性向上

2021年7月1日より車いす対応車両の運行開始。  
車いすご利用のままオンデマンドバスへの乗車可能に。



2021年12月2日より、定額で1か月の間、何度でも乗車いただけるデジタル定期券のサービスを開始。通勤通学をはじめとした日常的な外出にオンデマンドバスが便利でお得に。



📱 : アプリ「Osaka MaaS 社会実験版」

📱 : アプリ「QUICK RIDE」

※ 画面は開発中のものであり、実際とは異なる場合があります

## Osaka MaaSアプリ利便性向上

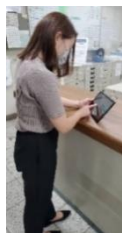
お客さまのご要望にお応えし、下記機能をMaaSアプリに搭載。  
・予約したオンデマンドバスの位置をリアルタイムで確認できる機能  
・予約したオンデマンドバスの接近を通知する機能（平野A・Bエリアのみ）  
・オンデマンドバスの予約時に乗降場所の写真を確認できる機能

# 2021年度の主な取組み（交通／MaaS事業）

各種交通をシームレスにつなぐためのMaaSアプリの開発、サービス提供を実施。  
自動運転車両を核とした 次世代都市交通システムの実証実験を開始。

## オンデマンドバス予約機能の拡充

- 2021年7月29日より、オンデマンドバスの予約利便性向上のため、運行エリア内の各種施設にて施設スタッフによるタブレットを用いた代理予約サービスを開始。  
（計7か所）



<タブレット代理予約イメージ>

- 2021年12月1日より、スマートフォンをお持ちでないお客さまもオンデマンドバスをご利用いただけるように、出戸バスターミナルに呼出電話を設置。



<呼び出しボタン設置箇所イメージ>

- 2022年2月1日より、鶴橋駅に設置のAI案内サイネージに、オンデマンドバス予約・配車機能を搭載。タッチパネルから乗車時刻や降車場所などを指定することで、鶴橋駅最寄りの乗降場所「鶴橋駅前10」から乗車可能に。



<鶴橋駅設置AIサイネージ画面イメージ>

## 各種モビリティとの連携強化

- 2021年12月2日より、MaaSアプリとシェアサイクル予約アプリの連携開始。経路検索上のシェアサイクルポートを直接表示し、予約が可能に。
- 駅周辺の移動をサポートする近距離モビリティ（電動車いす）の実証実験をWHILL株式会社と 共同で実施。（2021年12月6日～12月15日 天王寺駅）
- 2022年1月31日より、MaaSアプリとタクシーアプリ「GO」の連携開始。MaaSアプリの経路検索画面からタクシーアプリ「GO」に遷移し、予約乗車が可能に。



<シェアサイクル>



<近距離モビリティ>



## 各種次世代都市交通システムの実証実験の開始

2025年大阪・関西万博会場内外の輸送における、自動運転車両を核とした次世代の交通管制システムの提供を目指し、舞洲スポーツアイランド内の「舞洲実証実験会場」と、コスモスクエア駅から舞洲実証実験会場間の公道で実証実験を実施。

（2022年3月1日～4月26日）



<自動運転実証実験イメージ>

# 2021年度の主な取組み（マーケティング／流通事業）

駅ナカや地下街を中心としたフィジカル空間でのサービス向上の取組みの深化や新たなサービスの開発を推進。

## 駅ナカローソンとして最大面積となる天満橋駅北店など、新店舗4店をオープン

お客さまに、より便利で快適に駅をご利用いただくため、お客さまのニーズに寄り添った4店舗（ローソン天満橋駅、Pantograph西梅田駅等）をオープン。



＜天満橋駅・ローソン天満橋駅北店＞



＜西梅田駅・自販機店舗「Pantograph」＞

## 駅ロッカーで処方薬が受け取れる新サービス「デポる。」スタート

ココカラファイングループが運営する「ココカラファイン薬局弁天町店」で調剤した処方薬を、非対面で受け取ることができる専用ロッカーを弁天町駅（中央線）に設置。



## コワーキング施設「CAFÉ ONthe」の開業

コワーキング施設としての新ブランド「CAFÉ ONthe」を、中央線本町駅構内（10月15日）、ドージマ地下センター内（10月29日）にそれぞれ開業。



＜CAFÉ ONthe ホンマチ＞



＜CAFÉ ONthe ドーチカ＞



# 2021年度の主な取組み（マーケティング／広告事業）

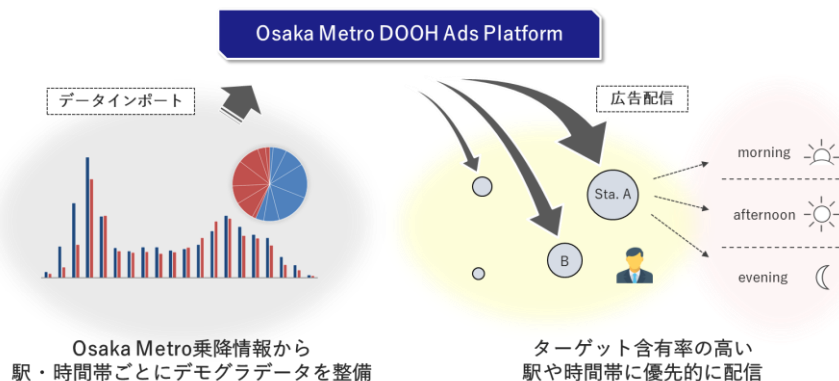
交通広告のDX化や新規メディア開発などの事業拡大とともに、生活者や事業者の多様なニーズにスピーディーにお応えすべく事業を推進。

## データに基づくデジタルサイネージ広告の開発

データに基づく柔軟な広告配信に対するニーズの高まりを受け、ターゲットに対して広告を表示する配信システムの運用や、ターゲットの視認に着目した商品販売を開始。



Osaka Metro DOOH Ads Platformによる広告配信イメージ



「Osaka Metro DOOH Ads Platform」とは？  
Osaka Metro Groupの所有するオーディエンスデータを活用することで、デジタルサイネージを対象にプログラマティック広告配信を実現するシステム。

平面裸眼3Dコンテンツの配信による商品やSNS及びゲーム内の広告など、デジタル技術を活用した他メディアとの共同商品を開発。



<SNSとの連携>



<平面裸眼3Dコンテンツ配信>

# 2021年度の主な取組み（マーケティング/デジタルマーケティング事業）

都市型MaaS構想の一環として、そのベースとなる「グループ共通顧客基盤」の構築を推進。

## グループ共通顧客基盤の構築やOsaka Pointの会員獲得・利用促進に向けたキャンペーン、各社との連携サービスを実施予約

- ・既存サービスのOsaka Pointを含め、今後新たに開発するサービスを想定しつつ、グループ共通顧客基盤の構築を推進。
- ・2021年4月1日より、Osaka Pointの乗車ポイントの付与対象となるICカードに、「OSAKA PiTaPa」以外の「PiTaPa」「ICOCA」を追加。
- ・Osaka Pointの提携先として、サカイ引越センターやmineoなど各社サービスとの連携を拡大。
- ・2022年3月末時点で会員数は約32万人、提携店数は約350店舗に。



<Osaka Point × サカイ引越センター連携>



<Osaka Point × mineo連携サービス>

## 「Osaka Metroクリエイト」本格始動

- ・引退した車両の部品を活用して商品化する「廃車再生プロジェクト」、及び大阪を中心とするメーカーとデザイナーとのマッチングにより、新たな商品を生み出す「ブランド創出プロジェクト」について、「Osaka Metroクリエイト」として本格始動。
- ・ECサイト「Osaka Metroショップ」において、「Osaka Metroクリエイト」から生まれた商品（バッグやテーブルクロックなど）を2022年3月より販売開始。



<RAU-RAU-G HAITETSU ショルダーバッグ> <ウェザーメーター付き テーブルクロック>



# 2021年度の主な取組み（都市開発事業）

## 保有資産を活用したOsaka Metro初の分譲マンションを着工。

### 商業一体型複合タワーマンション「(仮称)上本町 駅前タワー」

- ・Osaka Metro所有地（もと上六操車場用地）にOsaka Metro初となる分譲マンションを着工。
- ・上町台地のなかでも、アクセス利便、多彩なショッピング施設、公私の教育機関が集積する上本町エリアで、且つ、東梅田・なんば・天王寺へ直接アクセスが可能なOsaka Metro「谷町九丁目」駅徒歩3分、近鉄「大阪上本町」駅徒歩1分に位置。
- ・4～6階の入居者専用共用フロアに加え、下層階（1～3階）には商業施設を誘致し、敷地内には地域に開かれた広場を設置することで、本格化する在宅ワーク時代の生活利便性を高めるとともに、新たな賑わいを創出。
- ・安全・安心にして新たな都心生活を創出し、大阪の成長・活性化へ貢献。



▲外観イメージ



#### 【物件概要】

- 所在地 / 大阪市天王寺区上本町六丁目3番42他（地番）
- 交通 / Osaka Metro「谷町九丁目」駅徒歩3分  
近鉄「大阪上本町」駅徒歩1分
- 事業形態 / 定期借地権付分譲マンション  
（土地所有者：大阪市高速電気軌道株式会社 借地期間：約70年）
- 敷地面積 / 1,483.79㎡（建築確認対象面積）
- 建築延床面積 / 16,861.07㎡
- 総戸数 / 135戸・他店舗
- 構造・規模 / 鉄筋コンクリート造地上29階・地下1階
- 着工時期 / 2021年12月
- 竣工予定 / 2024年4月（予定）

# 2021年度の主な取組み（都市開発事業）

非交通部門の成長に貢献することを目指し、テナント誘致を進め、保有資産を徹底的に活用。

2022年3月末

42カ所

※うち計画推進中5カ所含む

現在推進中の5カ所のうち、谷九変電所、守口北西出入口吸排気口、幸町北側は、2022年度にテナントを誘致予定。

今後も十分吟味しながら、更なるアセット活用に取組む。



幸町（南） 借地事業（事務所）  
（2021年12月開業）



八尾南線路部 借地事業（駐車場）  
（2021年7月開業）



中百舌鳥 借家事業（飲食店）  
（2021年9月開業）



朝潮橋 借地事業（飲食店）  
（2022年1月開業）



**Osaka Metro  
Group**